

リベラルアーツ a(学習科学)

【単位数:0.5単位, 授業7コマ】

1 科目責任者

山口奈緒子 准教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-c, I-8-c)

- ① コンピテンスである「プロフェッショナリズム」を修得するために、自己の目標の設定や達成のための方法について学ぶ。
- ② 自己学習や生涯学習を継続して実行するために、自身の学習経験について振り返り、自己の課題を明確にする。

(2) 学修目標

- ① グループでのディスカッションを通して、自律的な学習の意義と自己の課題を説明できる。
- ② 学習に関する多様な側面について概要を理解し、自律的な学習に重要な要因を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	70%	毎回の授業内で実施するグループワークの成果物充実度を評価する。 【再評価について】 欠席時の対応について科目責任者へ問い合わせること。
小レポート	○	30%	授業内で記入するリアクションペーパー(3回)の充実度を評価する。
態度	○	—	態度不良の場合は、総合成績から10点を限度に減点する。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

演習課題内の個人課題及びリアクションペーパーの内容に対して、次回の授業内にフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし (AIDLE-Kにて資料配布)			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
動機づけ研究の理論と応用	櫻井茂男	金子書房	学習動機づけ理論の概要がまとめられており、学業に加えて社会生活でも役立つ内容であるため。
愛知医科大学ディプロマ・ポリシー		https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0612/index.html	卒業時の到達目標が示されているため。
大学生のための教科書	中山芳一 ほか	東京書籍	現役大学生が主体性をキーワードに大学での学びについてまとめており、同世代の視点も参考になるため。

6 準備学習（予習・復習）

- ① AIDLE-Kにて配布された資料に目を通し、予め自身の学習経験に照らし合わせて考えておく(1コマあたり約0.5時間)。
- ② 授業資料とグループワーク成果物により復習し、次回の授業に臨む(1コマあたり約0.5時間)。

7 授業計画

(1) 講義の方法

講義形式を基本とするが、適宜、グループ内又は教員との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(2) 講義の内容

高校生までとは異なる大学での学びについてグループワークにて討論し、自身の学習における課題と今後の学習習慣について共に考える。その際に、背景となる学習理論の理解も応用し、大学生としての学びや生涯学習も視野に学びについての理解を深めていく。

授業の前半に当日扱うテーマについて講義をした後、後半にグループワークを行い、グループワーク成果物と個人の振り返りをAIDLE-Kに提出する。